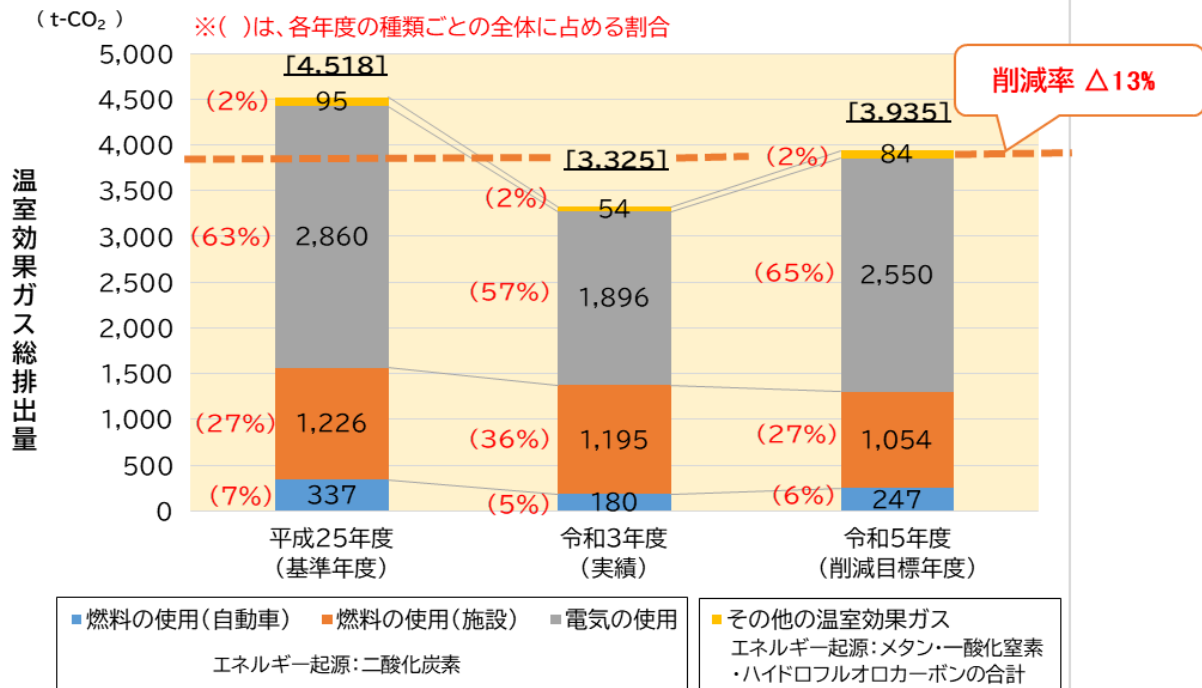


# 令和3年度 温室効果ガス排出量結果

※端数処理のため合計が合わない場合があります。

(単位:t/CO<sub>2</sub>)

ガス種及び排出要因		基準年度	実績		削減目標年度	
		平成25年度	令和3年度	削減率	令和5年度	削減率
エネルギー起源 二酸化炭素	燃料の使用 (自動車)	337	180	△ 46.7%	247	△ 26.8%
	燃料の使用 (施設)	1,226	1,195	△ 2.5%	1,054	△ 14.0%
	電気の使用	2,860	1,896	△ 33.7%	2,550	△ 10.8%
		4,423	3,271	△ 26.0%	3,851	△ 12.9%
メタン		59	36	△ 38.8%	52	△ 11.5%
一酸化二窒素		34	16	△ 52.4%	30	△ 12.6%
ハイドロフルオロカーボン		2	1	△ 22.2%	2	△ 6.6%
		4,518	3,325	△ 26.4%	3,935	△ 12.9%



## 《総評》

令和3年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度(平成25年度)と比較して約26.4%(1,193t-CO<sub>2</sub>)の削減となり、削減目標年度における温室効果ガス総排出量の削減率を達成することができました。

その主な要因としては、前計画から引き続き設定した「市職員の率先行動」に基づく、昼休み時間帯の消灯等による節電対策等の実施、また、過去に行ったLED照明機器の導入や空調設備の使用燃料の切替等が結果に繋がったと考えられます。しかしながら、昨年度に引き続き、温室効果ガス算出時に用いる電気事業者別排出係数自体が減少したこと、また、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響や工事に伴う一部の施設の休館による電気使用量等の減少も、大きな要因として考えられるため、こうした要因が無くとも、削減率を維持するためには、今後も引き続き、使用量そのものを減らすことが必要となるため、職員一人ひとりが計画に基づき取組を徹底してまいります。